

4

地域の宝を 活かすまち



施 策

1.沼津の魅力の発信



2.地域資源の創造と磨きあげ



3.沼津ならではの観光の提供

4.インバウンド施策の推進

5.移住・定住の推進

重 点 項目

- 各種メディアの活用やオンラインブランド形成などによる戦略的なシティプロモーションを推進し、沼津の認知度等の向上につなげます。
- 本市ならではの地域資源を活用した、様々なツーリズムを創出し、来訪者の増加と周遊観光の促進を図ります。
- 自然と都市的魅力を合わせ持った「ぬまづ暮らし」の発信や、移住・定住の支援などを官民連携により推進し、本市への多様な人の流れを創出します。

関連指標

指 標	基 準 値(基 準 年 度)	目 指 す 方 向
市公式 SNS の登録者数	32,143人(R1)	➡ UP
スポーツ大会・合宿、 コンベンション等の誘致件数	14件(R1)	➡ UP
移住促進事業を通じた転入者数	17人(R1)	➡ UP

沼津の魅力の発信

現状と課題

- 本市は、海・山・川の豊かな自然に囲まれるとともに、多くの地域資源等の魅力にあふれています。
- 超高齢化、人口減少社会のなかで、安全で豊かな生活を維持していくためにも、定住人口や交流人口の増加に向けて、これらの魅力を積極的に内外へ発信していく必要があります。
- 来訪者の増加につなげていくためには、ターゲットや目標を明確にした戦略的なシティプロモーションの展開が求められています。
- ロケーション等の誘致やSNS等の様々な媒体を活用した情報発信、ふるさと納税の推進、スポーツ等による沼津のブランドイメージの確立など、市民、行政、民間事業者が一体となったオール沼津で、本市の認知度と知名度の向上を図る取組を実施していく必要があります。



方向性

動き出す 創り出す

- ふるさと納税などを活用し、沼津の知名度向上や魅力の発信を図ります。

誇りと つながり

- 沼津の魅力を広く内外に発信するシティプロモーションを推進します。
- 映画等のロケーション誘致を推進し、映画等を通じた来訪者の増加につなげます。
- SNS等の媒体を積極的に活用して、本市の魅力の情報発信を推進します。

心も体も 元気で健康

- スポーツ等によるオンラインブランドの形成を図ります。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
1 シティ プロモーション の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 主に首都圏向けにターゲットを明確にして戦略的かつタイムリーに情報を発信するなど、まちのイメージアップにつながるプロモーションを推進します。 ▶ 首都圏メディアや旅行代理店向けのセールスなどにより本市観光の魅力 P R を推進し、来訪者の増加につなげます。 ▶ 沼津出身者やインフルエンサー等を活用し、効果的な情報発信を行います。
2 映画等の ロケーション 誘致の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事業者向けのロケーションライブラリーなどを活用し、映画等のロケーション誘致体制の充実を図ります。 ▶ 地域のフィルムコミッショナードなどの活動支援や連携を図り、本市を舞台とする作品を通じた本市の認知度向上と交流人口の創出を促進します。
3 S N S 等の 活用による 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市政情報やイベント情報などを、市民に分かりやすく、かつ迅速、効果的に発信するため、ホームページや S N S 等の I C T を活用した情報発信をより一層推進します。 ▶ S N S 等を活用し、市民との連携による本市の魅力情報の拡散を進めます。 ▶ 市ホームページや市関連サイトの充実を図り、市内外に市政情報をより効果的に発信していきます。
4 ふるさと納税等 の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 沼津の認知度等の向上につながるふるさと納税を推進します。 ▶ ふるさと納税の返礼品等を通じて沼津の魅力を発信します。 ▶ 魅力的なまちのコンテンツづくりなどの取組に対し、企業版ふるさと納税やクラウドファンディング※の活用を検討します。
5 スポーツによる オンライン ブランドの形成	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 県東部初の J リーグチームである「アスルクラロ沼津」に対するホームタウンとしての活動支援や、沼津の風土で育まれるスポーツを磨きあげることなどにより、本市の知名度向上と魅力発信による地域の活性化を図ります。 ▶ 日本フェンシング協会との連携により、将来の金メダリストの育成や環境整備に取り組み、「フェンシングのまち沼津」のブランドを確立し、大会や合宿の恒常的な開催につなげます。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市観光振興ビジョン

地域資源の創造と磨きあげ

現状と課題

- 本市は、美しい自然や富士山の眺望をはじめとする美しい景観、みかんやお茶、あじの干物をはじめとする食資源、日常生活から生み出されたバー文化など、多くの地域資源を有しています。
- 各地域に多くの文化財等の歴史・文化資源が点在しています。
- 市民にとっては当たり前のものが、市外や海外の人にとっては魅力的なコンテンツであり、多くの人を本市に引き付ける可能性を秘めています。
- 宝ともいえる素晴らしい地域資源等を国内外へ発信し、交流人口の拡大につなげていくためには、インナープロモーションを推進し、市民一人ひとりがまずはその価値を認識し、市民と行政とが共通認識のもとで大切に保護・継承していくとともに、一体となって顕在化や利活用に向けた取組を推進していくことが求められます。
- 新たな地域資源の発掘や創造に努め、更なる沼津の魅力の向上と地域の活性化につなげていく必要があります。

方向性

動き出す 創り出す

- 新たな地域資源の発掘・創造を推進します。

誇りと つながり

- 市民と連携して地域資源の活用の促進を図ります。
- 各地域に点在する多くの文化財等の歴史・文化資源の保存と活用に努めます。

心も体も 元気で健康

- 自然や豊富な食資源等の地域資源の活用に向けて、インナープロモーションを推進します。

関連する SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組

内容

1

インナー
プロモーションの
推進

- ▶ 沼津の宝といえる地域資源の周知啓発を図るとともに、市民が主体となって地域資源を活用する取組等の支援や、活用に向けた市民との連携、市民自らが発信するインナープロモーションの促進を図ります。
- ▶ 魅力ある地域資源や映像作品等を活用したシティプロモーションの推進や、写真等のフリー素材提供、広報紙等への活用などを通じて、本市特有の地域資源の魅力発信と市民のこれらに対する愛着や価値の再認識を促します。
- ▶ 教育現場と連携し、学校の授業等において地域資源の活用を図り、地域への愛着を育むとともに、認知度の向上につなげます。

2

歴史・文化資源
の保存と活用

- ▶ 地域に根差した祭典や伝統文化、各地域に点在する歴史資源などについては、保護や継承を適正に行うとともに、これらとの調和を図りながら、地域の活性化に向けて活用を図ります。
- ▶ 歴史上極めて価値の高い高尾山古墳について、本市の宝として適切な保存整備を進め、国史跡指定を目指します。
- ▶ 高尾山古墳や興國寺城跡などの整備にあたっては、近隣の観光資源との連携等により回遊性のある活用が図られるよう、地域と協力して進めます。

3

新たな地域資源
の発掘・創造

- ▶ 地域固有の植生や特産物、アニメ等のコンテンツについて、市民、地域、各種団体、行政が力を合わせて新たな地域資源として発掘・創造、話題作りなどを行い、地域の活性化を図ります。
- ▶ 中心市街地におけるバー文化をはじめとする、市民が培ってきた日常文化の魅力や新たな生活スタイルの市内外への発信などにより、本市来訪の新たなきっかけづくりを行います。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市観光振興ビジョン
- 沼津市教育大綱
- 沼津市教育基本構想



沼津ならではの 観光の提供

現状と課題

- 観光客の増加に向け、市民、地域、各種団体、行政が力を合わせて、本市の持つ豊かな自然や多彩な地域資源を活用し、来訪者が沼津でしか体験できない観光コンテンツ等を提供することが求められます。
- 沼津港のにぎわいの振興を図るとともに、本市の特長でもある海の魅力を内外に発信し、海辺のにぎわいとネットワークづくりを進めること、スポーツ、歴史・文化、産業などを活用したツーリズムを創出するなど、本市ならではの新たな観光の提供に努める必要があります。
- 近隣市町と連携した観光回遊ルートの作成や、エクスカーション※プランの提供などによりMICE誘致を進めなど、広域での観光振興を推進することが必要となっています。
- 新型コロナウイルス感染症等の影響により、来訪者にとって安全・安心な観光地づくりが求められています。



方向性

動き出す 創り出す

誇りと つながり

心も体も 元気で健康

- スポーツ、歴史・文化、地域資源等を活用した観光コンテンツやツーリズムを創出します。
- 周辺市町と連携したMICE誘致を進め、広域での観光振興に努めます。
- 沼津港をはじめとする海の魅力を活かしたイベント等によるにぎわいの創出を図ります。
- 安全・安心な観光地を目指し、新しい旅行スタイルのための取組を推進します。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

	取組	内容
1	にぎわいの創出	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本市ならではの海の魅力を内外にアピールする各種イベントや、個性と魅力のあふれるイベントの開催などにより、にぎわい創出を進めます。 ▶ 海や海岸線の景観や、海があるまちならではの食やスポーツ、歴史・文化などを活かして、海の魅力を内外に発信し、海辺のにぎわいとネットワークづくりを進めます。 ▶ 多くの来訪者でにぎわう沼津港について、地域や県等と連携し、更なる発展に向けた整備を計画的に進めるとともに、中心市街地との連携や新たなにぎわいの創出を進めます。
2	地域資源を活用したツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本市の様々な地域資源を歴史・文化、自然景観などのテーマで連携させ、これらの周遊観光の促進により、観光誘客を進めます。 ▶ 東京2020大会をきっかけに注目を集めるサイクリングやフェンシング、地域に根ざしたJリーグなど、スポーツコンテンツによる誘客を進めます。 ▶ 市民が進める地域の歴史・文化や産業を活かした魅力増進及びにぎわい創出活動を支援し、連携協力によるまちのにぎわいづくりを促進します。 ▶ 大人数だけでなく、近郊の少人数をターゲットとしたツーリズムやワーケーション※など、新たな観光スタイルに合わせた取組を推進します。 ▶ 観光関連施設におけるデジタル技術の活用や衛生管理などに努め、快適で安心して歩けるまちづくりを進めます。
3	MICE誘致、広域での観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 近隣市町と連携した各種MICEの誘致や、開催支援を行うとともに、アフターコンベンションの提供により、広域での観光振興を図ります。 ▶ プラサヴェルデを県と連携して効率的かつ効果的に管理運営し、中心市街地の活性化やにぎわいの創出に努めます。 ▶ 近隣市町や民間団体と連携して広域による観光プロモーションや誘客を推進するとともに、県内外の市町とのコンテンツ連携による観光PR等を検討します。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市観光振興ビジョン
- 沼津港みなとまちづくり推進計画(静岡県)
- 沼津市自転車活用推進計画

インバウンド施策の 推進

現状と課題

- 本市における訪日外国人数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大幅に減少し、需要の回復には時間がかかることが見込まれます。
- アフターコロナを見据えて外国人へのおもてなし環境の整備などにより、外国人観光客対策を図ることが重要となっています。
- 外国人向けの案内表記や情報発信、円滑なコミュニケーションなど、インバウンドの受け入れ体制の整備を進める必要があります。
- 魅力ある体験観光など、外国人のニーズに合った観光商品の創出を支援することが必要となっています。



方向性

動き出す 創り出す

誇りと つながり

心も体も 元気で健康

- I C T を活用した外国人等へのおもてなし環境の整備を図ります。
- 外国人のし好やニーズを踏まえた観光商品の創出の支援や情報発信に努めます。
- 観光ボランティアなど沼津の魅力を伝えるおもてなし人材の育成に取り組みます。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

	取組	内容
1	おもてなし態勢の整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 沼津の魅力を伝えるため、観光ボランティアガイドなど、おもてなしに関わる人材の育成を支援します。 ▶ 観光ポータルサイト*や観光案内板表記の多言語化の充実、キャッシュレス化の推進を図ります。 ▶ 市内在住の外国人と協力して、各国のし好などを調査・研究とともに、効果的な誘客施策などを検討します。
2	インバウンドに対応した観光商品の創出支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ターゲットを明確にしたマーケティングを図り、外国人向けの魅力ある体験型観光などの創出について支援します。 ▶ 既存観光コンテンツのインバウンド対応やPR等について支援します。
3	効果的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 近隣市町や民間団体と連携して、インバウンド獲得に向けたプロモーションに取り組みます。 ▶ 外国に向けたSNS等による情報発信や、スマートフォンやタブレット等にも対応した多言語情報ポータルサイトの制作等、本市の情報発信環境整備を進めます。 ▶ 各国のし好に合わせた多言語対応の観光パンフレットを作成し、情報案内サービスの充実を図ります。

▶ 関連する主な計画 ◀

○ 沼津市観光振興ビジョン



移住・定住の推進

現状と課題

- 定住人口の確保に向けては、自然と都市的魅力を合わせ持った「ぬまづ暮らし」について、公民連携のもとで首都圏等に向けて魅力を力強く発信することが求められます。
- 海・山・川の自然が豊かであるなど、本市の魅力を活かした移住定住の施策を推進するとともに、若年のうちから地域と関わることで地元に誇りや愛着を持ち、転出しても将来のUターンにつながるように努めることが必要となっています。
- 新型コロナウイルス感染症をきっかけに生活や働き方を見直す動きが広がっており、公民連携のもと移住希望者に寄り添った支援に努め、市外からの移住・定住の促進を図る必要があります。
- 本市への来訪や移住にもつながる、多様な人の交流を促進し、交流人口、関係人口を増やすことが重要となっています。



方向性

動き出す 創り出す

- 地域特性を活かした多様な交流を進め、交流人口、関係人口の増加に努めます。

誇りと つながり

- 自然と都市的魅力を合わせ持った「ぬまづ暮らし」の発信と移住希望者の受け入れ支援体制の充実を公民連携で推進します。

心も体も 元気で健康

- 海・山・川の自然豊かである魅力を活かした移住・定住の施策を推進します。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
1 ぬまづ暮らしの発信	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各種情報媒体を活用し、自然に親しみ、感性豊かに子育てができるぬまづ暮らしの魅力発信の充実を図ります。 ▶ リモートワークの進展などの新しい生活様式においても、首都圏近接やアクセスの良さ、高速通信網の活用など、利便性の高いぬまづ暮らしの発信に努めます。
2 移住・定住支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公民連携により住宅や就職情報の提供、シェアオフィスの紹介、オンライン移住相談、市内案内を実施するなど、移住希望者の受け入れ支援体制の充実を図ります。 ▶ 県や近隣市町と連携して移住相談会の開催や移住定住情報の発信の充実に努めます。 ▶ 沼津に住んでいる若年層や子育て世代に対し、沼津への愛郷心の醸成を図り、定住を促進します。 ▶ 移住希望者の事前の暮らし体験や、本市への移住を後押しする支援制度などを検討し、若者世帯などの定住を促進します。
3 関係人口の増加	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 沼津のファンを増やし、「地域に関わってくれる人」や「地域を応援してくれる人」が増える取組などについて、調査・研究し、推進していきます。 ▶ 地域の課題解決やにぎわいづくりに参画意欲のある市外住民に対し、その参画を支援する仕組みづくりを検討します。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市観光振興ビジョン
- 沼津市教育大綱
- 沼津市教育基本構想

